

【施策⑥】観光誘客による公共交通の活用

目標⑥に対応

<p>目的等</p>	<p>地域の観光資源や大規模イベントと連携した企画乗車券や、MaaSによる観光施設と公共交通の連携、GTFS-JP データの整備による来訪者が公共交通を利用しやすい環境の構築など、観光誘客と公共交通利用促進が一体となった取組を推進する。</p>	
<p>取組概要</p>	<p>観光客等の公共交通利用へのインセンティブ付与による観光誘客と公共交通の利用促進</p> <p>地域の観光資源やイベントと連携した企画乗車券などにより、公共交通での来訪にインセンティブを与える取組を実施することで、観光誘客と公共交通利用促進に取り組む。</p> <p>GTFS-JP データの整備によるシームレスな乗継情報の提供</p> <p>観光客などの来訪者が、幹線交通・広域交通・生活圏交通を含めて各交通モード間のスムーズな乗換ができるように、各交通モードの運行管理者・事業者が GTFS-JP データを整備して公共交通の経路検索事業者に提供する。</p> <p>※後志地域の高速バス・路線バスの運行事業者は整備済み</p>	
<p>取組主体 (事業実施団体・連携団体・協力団体等)</p>	<p>国、北海道、市町村、交通事業者</p>	
<p>取組内容</p>	<p>北海道 後志地域 公共交通 活性化協議会</p>	<p>■観光誘客と公共交通利用が一体となった利用促進策について、先進的な取組事例などの情報共有を図りながら、具体的取組を検討・実施</p>
	<p>国</p>	<p>■企画乗車券に係る認可業務及び、MaaS や AI オンデマンド交通に対応した新モビリティサービス推進事業補助金について助言等を行う</p>
	<p>北海道</p>	<p>■先進的な取組事例を情報収集し、協議会へ提供（効果的な取組の横展開を図る）</p> <p>■バス利用に関する PR 動画を作成し振興局の YouTube チャンネルに投稿</p> <p>■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの検討・実施</p> <p>《R4 年度実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用促進キャンペーン「ぐるっと北海道」 公共交通のスタンプラリー「LOVE LOVE 北海道ビンゴスタンプラリー」
	<p>市町村</p>	<p>■地域の観光資源やイベントと連携した企画乗車券の企画などによる、公共交通での来訪にインセンティブを与える取組を検討し、観光誘客と公共交通利用促進に取り組む</p> <p>《R4 年度実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会等と協働で、乗車特典や観光ツアーパッケージを組み込んだ季節臨時バスを運行 バス利用 PR 動画作成、SNS 等での公開 周遊バス利用促進、町内消費拡大クーポン事業の実施 バス交通における運行状況の可視化、グーグルマップで運行状況をリアルに利用者へ提供（GPS 車載器、乗降分析機器の設置）

		<ul style="list-style-type: none"> ・町の観光資源であるワインやウイスキーとともに、観光名所とアイヌ関連施設を巡る観光タクシープランを作成 ■公共交通マップ等の作成を検討し、観光客の利用促進を図る ■運行する公共交通の GTFS-JP データ整備を検討し、整備後は継続して更新を行う 《R4 年度実施》 ・赤井川村内バスの GTFS-JP データ（グーグルマップ）整備				
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの実施 《R4 年度実施》 ・特急ニセコ号を運行（停車駅・車内での特産品販売、沿線地域の観光 PR、ご当地キャラクターによるお出迎え・お見送りを実施）				
スケジュール	取組内容	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度	2026(令和8)年度
	観光客等の公共交通利用へのインセンティブ付与による観光誘客と公共交通の利用促進		各主体での取組実施・推進			
			取組事例の共有 新たな取組の検討		取組の実施	
	GTF-JP データの整備によるシームレスな乗継情報の提供		データの整備検討・整備後の更新			